
或る夜の夢

水谷遼

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

或る夜の夢

【Nコード】

N0699D

【作者名】

水谷遼

【あらすじ】

夏目漱石「夢十夜」の形式で書いた短編小説です。連載でちゃんと十話分書くつもりだったのですが、諸事情で出来なさそうなので短編にしてみました。あなたは、自分の知らない世界にいくことが出来ますか？

こんな夢を見た。

私は部屋の中にいた。しかし、それは部屋と言うには余りに冷酷に出来ていた。私は四方を冷たく固い物質に囲まれていた。その部屋の奥には階段があつたが、私はその向こう側を何故か知らなかった。私は孤独だった。私は膝を抱えうずくまっていた。震えているようにも感じた。私はその部屋に閉じこもっていたのだつた。ふと、私の周りの壁がその存在を消したかのように思えた。私は、私を支えるものが何も無いことを知った。

私は慌てた。が、私はそこに静止していた。そこは無の闇のように思えたが、何故かすぐにそこが無ではないような気がした。私は誰かが私に話しかけるのではないかという予感に取り憑かれた。するとその予感は現実となった。

「君もここに来たかつたのかい。」と声がした。成程私はここに来たかつたような気がした。「そうだよ。」と私は返した。「君は悩んでいるのかい。」と声がした。それは確かであるように思われた。私は「そうだよ。」と再度返した。「それなら君は何を悩んでいるのかい。」とその声は言った。私は何を悩んでいるのか分からなかった。しかし、それを見つける為にここに来たのだという気がした。すると、私の心を見透かしたようにそれが満足そうな声を出した。

「それならこれを見てごらん。」と声は言った。ふと、私の目の前に汽車が現れた。「さあ、君はこの汽車に乗るかね。」とその声は私に尋ねた。その汽車は無の空間を旅するもののように思った。私

はその汽車に乗ろうとした。ふと、私は不安をおぼえた。それはこの空間に来て始めて味わう感覚であった。私はどうしようもなく震えた。すると、声がその声をあげた。「そこだよ。君が悩んでいるのはそこなんだ。」と声は言った。「君はなぜこの汽車に乗らないのかね。」と声が詰問した。私にはその答えが分かっているように思えたが、それを言うのはためらわれた。「どこに行くのか分からないから不安なんだろう。」とその声は言った。私は自分の心の内を言い当てられて動揺した。

「いいかい。」声は続けた。「君は臆病になっっているんだ。君は本当は汽車に乗りたい、汽車に乗って自分の知らない所に行きたいと思っっている。でも君は汽車に乗れなかった。君には未知の物に臨む勇気がなかったんだ。でもそうこうしていると汽車は出て行ってしまう。その時点で君はそこに留まるしなくなるんだよ。」声は一瞬言葉を切った。「汽車ならば次の便が来る。しかし次が無い事だつてあるんだぞ。」声はその言葉を終わらせた。そして、私の周りが急に渦巻いたかと思うと、私はその中へ吸い込まれていった。

私は部屋の中にいた。しかしそれは今や冷酷ではなくなっていた。そこには誰もいなかったが、私は震えてはなかった。ふと、階段に目をやると、その向こう側が何だかひどく明るく見えた。私はその光のする方へと歩いていった。私は何かに突き動かされていた。私はその階段を脱出した。

そこは荒野だった。私は周囲を見回した。私は、自分がすぐれるものが己以外無い事に気がついた。ふと、私は何かの視線を感じた。見えるはず無い星が私を見て微笑んでいた。私は歩き出した。

そこには階段の跡さえ見受けられなかった。

（後書き）

読み終わりましたら、感想や評価をしてくださると嬉しいです。また、連載中ではありますが私のほかの作品も読んでいただけると有り難いです。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0699d/>

或る夜の夢

2010年12月16日02時24分発行